

ハヶ岳だより

川崎市ハヶ岳少年自然の家

NO.52

2014. 11. 30



寒い、さむい、本当に寒くなりました。今朝のハヶ岳はマイナス二℃でした。

十月に台風で延期になった小学校自然教室の三校も、十一月の寒い中でしたが無事実施し、小学校自然教室百十三校が終了いたしました。

年が明ければ、一月五日から中学校自然教室が始まります。主にスキー教室となりますが、元気にお出でいただければ幸いです。

また、年末年始も百名を超す市民の方々が、年越しをハヶ岳で過ごされます。

ここ数年冬は色々なことがありました。

一昨年は笹子トンネルの崩落事故、昨年は大雪と利用者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。

今年、長野県では南木曽町の大雨災害、御嶽山の噴火、小谷村の地震と自然災害が続いています。

幸い自然の家のある富士見町は離れた場所ですが、被害にあわれた方々の一日も早い復旧と、この冬これ以上何事もなく過ぎてくれればと思っています。

十一月に、自然教室で田んぼ体験をした学校にお米を配りに行きました。

その時、西中原中学校にお邪魔した際、飾られている各部活動の活躍によるトロフィーなどを見せて頂きました。

スポーツが盛んなことは知っていましたが、凄すぎて見入ってしまいました。

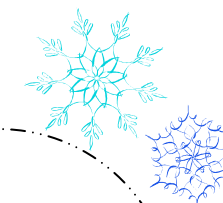
見学していたら子供たちも元気に挨拶をしてくれて、とても清々しい気持ちになりました。

また、来年も田植えをして頂ければと思います。

先日、大変お世話になった校長先生が、お亡くなりになりました。

十月に冬の自然教室の实地踏査にハヶ岳にいらした時、「この冬も川崎の子供をよろしく頼みます。」とおっしゃっていました。

必ず、子供たちが良き思い出がつかれるように努力します。ご冥福をお祈りします。



だいだらぼっち（グリーンウッド自然体験教育センター視察にて）

小学校自然教室も終了した先日、自然の家職員で長野県下伊那郡泰阜村にある「グリーンウッド自然体験教育センター」に視察に行ってきました。

泰阜村は人口１９００人を切った村で、国道も走っていないのはもちろん、コンビニもないまさしく「何もない」村です。

そこで２０数年にわたって一年間の山村留学「暮らしの学校 だいだらぼっち」と短期の「信州山賊キャンプ」を実施しているのが、グリーンウッド自然体験教育センターです。

そこでの一番の特徴は「こどもが主役になり、自分達で計画を立てるために話し合う」ということでした。

大人は相談役に徹してそれをサポートするそうです。視察研修ですから何か自然の家でも取り入れられることはないかな？と熱心に話を聞いてきましたが、一番印象に残ったのは「根っこ教育」という言葉でした。

人生を自らの力で切り拓く力は、暮らしの中の実体験から「感じ・生み出し・楽しむ心」が人間の根っこを作るという考え方です。

夏のキャンプでは、１１００人ものこどもとそれを支える３５０人ものボランティアが集まり、大人気の秘密はまさにこの「根っこ教育」で、生きる力が求められているのだと思いました。少年自然の家でも、この視察で感じたことを活動に役立てていきたいと思います。（K）



施設紹介（自由広場）

自然の家の施設としては、自由広場は野外炊飯場とかバーベキュー場のように自然の家ならではの場所というイメージが持たれていませんが、これから冬に向けて自然体験の場所として発揮してくれます。

グラウンドを小さくしたような場所なので、小学校の自然教室ではレクリエーション、朝の集い、退所式等をする場所として使われることが多いのですが、冬に雪が降った日の朝など、雪の中に動物の足跡がはっきり残ってます。

平坦な広場なので、その動物がどちらの方へ向かっていったかなど調べることができます。

写真のように、少しぬかるんでいるときでも大勢の人が利用していただければいづらか見ることができますが、雪の上では、はっきりと足跡を追うことができます

そんな楽しみ方も、これからの季節、自由広場ならではの体験です。

自然の家に冬に来られたときには、自由広場でぜひ動物の足跡を見つけて、どういう動物がどんな行動をしたのか考えてみて（アニマルトラッキング）楽しんで下さい！！

（ちなみに写真の足跡は、シカの足跡です。）



（ちょっとお薦の一冊）

「くらやみでもへっちゃら」 桃井 和馬 著

家の灯りや街頭の灯りなどで、生活の中で暗闇を体験できる機会が減っていますが、この絵本では、暗闇の体験をすることの意味を伝えています。

この本の抜粋を載せます。

（「くらやみでもへっちゃら」大日本印刷株式会社 抜粋）

ひかりがある生活は明るく、たのしく、あんぜん。でも、さいきんでは、夜まで明るくなってしまったため、人間は五感を、あまりつかわなくなりました。くらい世界も、こわいだけじゃない。人間には、ひつような世界だったんだ。



自然の家では、ナイトハイクなど暗闇を体験する活動があり、小学校の自然教室などで行われています。

この本を読んで、なおさら暗闇の体験の大切さを感じました。

スキーシーズン到来

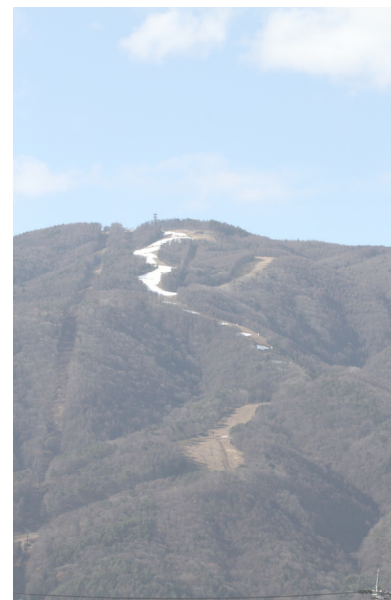
富士見町にあるスキー場の１つ「富士見パノラマスキー場」では、これからウィンタースポーツを楽しんでいただこうと、ゲレンデの雪付けが始まっています。

現在、写真のようにスキー場上部に降雪機を使って雪付けをおこなっています。

この景色を見るといよいよ冬なんだなと思えます。

スキー場のオープンですが、「富士見パノラマスキー場」は、１２月６日（土）、「富士見高原スキー場」は、１２月２０日（土）です。

ぜひ、ウィンタースポーツを行いに来てください。



近隣施設紹介

【 蕎麦（そば）屋 】

信州といえば、「蕎麦（そば）」。

蕎麦屋は、本当に多いです。

お店によって蕎麦自体の味、タレの味が違います。

自然の家のある富士見町もそば畑が多く、また、蕎麦屋も多くあります。

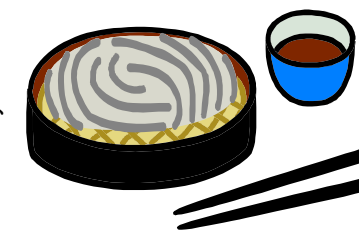
「おっこと亭」、「花鳥野」、「丸甚」、「新次そば三井」、「季楽庵」、「西村」「眞」、「染」、「葛木宿てのひら館」、「喜蕎八」など。

現在、この秋に収穫したばかりのそばの実からそば粉がつくられ、そのそば粉からつくられた『新蕎麦』と呼ばれるそばを食べることができます。

つなぎの割合によって、二八そば、十割そばなど、そば粉の種類によって更科そば、田舎そばなどなど。

その店ならではの味がありますので、

いろいろなお店で食べ比べてみて下さい。



主催事業 ハヶ岳ぐるっとハイキングⅤ 「極寒のハヶ岳スノーシューハイキング」の募集



雪の世界をスノーシューハイキングで楽しんでみませんか？

冬しか味わえない世界が待っています。

スノーシュー入門コースを専門ガイドと一緒に歩きます。

スノーシューは自然の家で用意します。防寒靴と防寒着を御用意ください。

開催日：平成27年1月24日（土）～25日（日）1泊2日

宿泊：川崎市ハヶ岳少年自然の家

コース：24日 山梨県立北杜市清里 キープ自然歩道

（用具のつけ方、歩き方などの講習と平坦なコースを散策）

25日 北ハヶ岳 ハ子ヶ峰（1869m）スノーシュートレッキング

（スズラン峠から標高差141m コースタイム約2時間）

募集対象：中学生以上の健康な方（無雪期3時間ほどの低山を歩ける方）

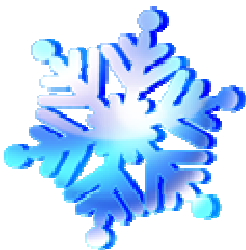
参加費：大人1名様 16,000円

（宿泊費、食事代等）

募集定員：40名（申し込み多数の場合抽選）

申込期間：平成26年12月24日（水）まで

申込み方法：はがきかファックスで、事業名（極寒のハヶ岳スノーシューハイキング）、住所、電話、参加者氏名、年齢を記入して、少年自然の家あてお送りください。
または、自然の家ホームページ内「極寒のハヶ岳スノーシューハイキング参加申込書」にてお申し込みください。



川崎市ハヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原
12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 （一社）富士見町開発公社

～あとがき～

ハヶ岳の景色も夏の青々とした色合いとまったく変わり、冬を迎えるように頂上付近が白くなってきました。

林の中を歩いていても、もの静かな感じがして、季節が変わっていくのだなということを体感します。

そんな中、自然の家では冬の利用に向けて準備をしています。ウィンタースポーツなどでのご利用お待ちしております！（D）